



国立大学法人

九州工業大学

URAセンターの 活動状況について



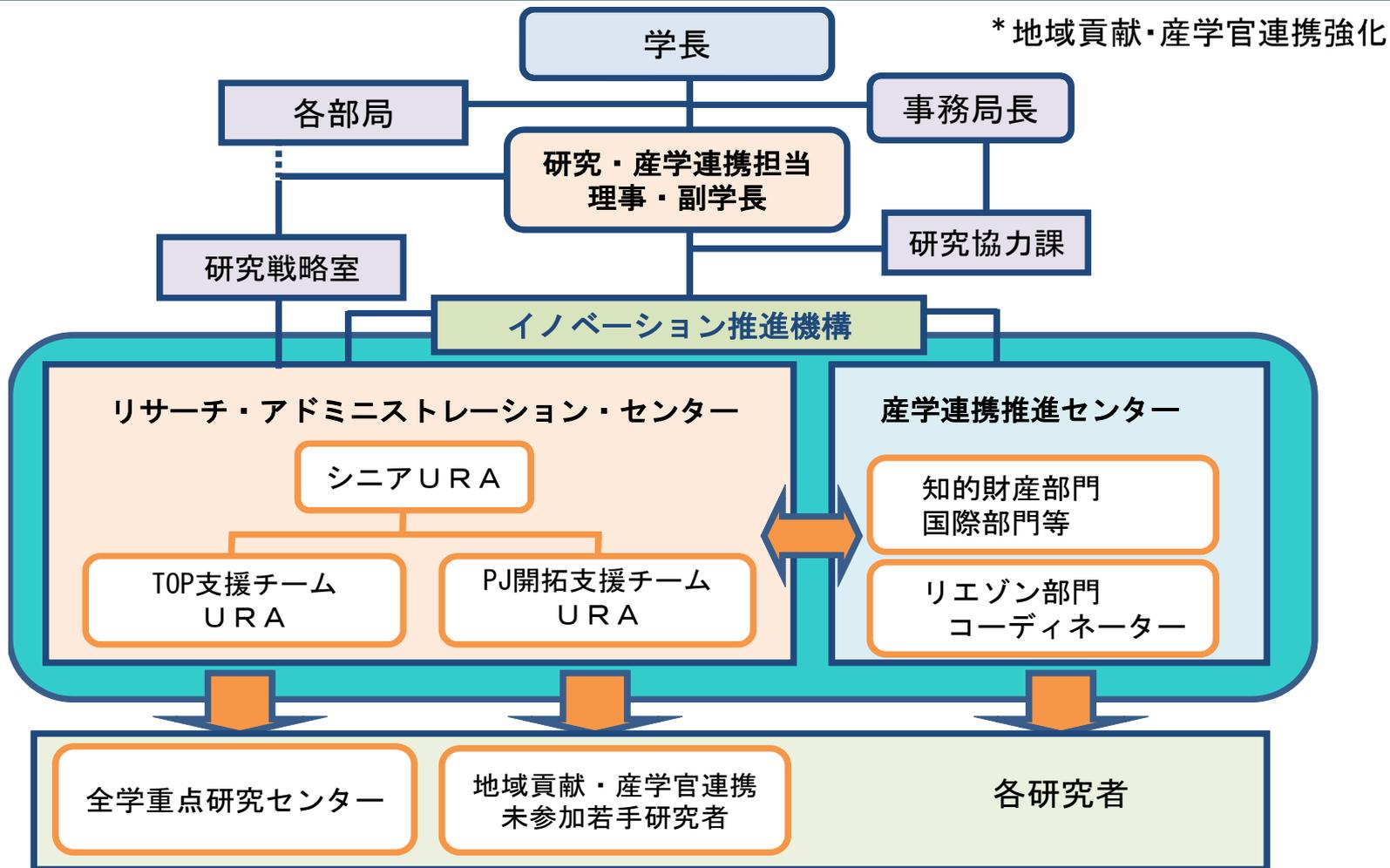
University Research Administration Center
Kyushu Institute of Technology

九州工業大学 イノベーション推進機構
リサーチ・アドミニストレーション・センター
副センター長 倉田 奈津子

2013.12.16 九工大URAシンポジウム

強化された産学連携の推進体制

(H24年度リサーチ・アドミニストレーター(URA)を育成・確保するシステムの整備事業*に採択)
(イノベーション推進機構を新設し、URAセンターと既存の産学連携推進センターを統合)



URAセンターは、研究者により近い立場で、既に活発に活動している産学官連携に関わる学内外の関連部署との連携により、URAを活用した地域経済の発展に繋げるため、以下のミッションにチャレンジします。

1. 地域企業との共同研究UP
2. 外部資金獲得UP

● 研究力を高めるための戦略的な支援

① 科研費等の活用による新しいシーズ育成支援

- ・科研費等申請支援
- ・研究者の掘り起し

② 異分野融合の促進

- ・異分野にまたがる研究者グループ形成・活動支援
(医工連携、医歯工連携)

● 学内外と連携した組織的な活動

- ・多種多様なニーズへの対応
- ・異分野融合によるイノベーションの創出

1. 地域企業との共同研究UP
2. 外部資金獲得UP

1.外部資金獲得支援

- ① 競争的資金申請支援 
- ② 研究者情報等の整備 

2.地域連携による研究開発プロジェクトへの支援

- ① COI事業、スーパークラスター事業申請支援 
- ② 医歯工連携プロジェクトへの支援

3.URA体制の基盤づくり



- ① 学内・学外関係部署との連携強化
- ② アウトリーチ活動

● URA-Cafe 「ザ、科研費！」 の開催

平成25年8月27日

九州工業大学の研究者や事務および産学連携関係職員その他、他大学のURA関係者など約50名が参加し、科研費採択アップの為に何が重要なのか、URAには何が求められているのかといったテーマで活発な議論が行われた。



● 科学研究費補助金申請支援

月	主な取り組み
1月	学内科研費WGの発足 (研究協力課・URAセンター共同G) <ul style="list-style-type: none"> 全学科研費の現状把握 (申請・採択に関する数字の把握) 過去学内委員会にて提案された科研費検討事項の洗い出しと見直し
2-4月	大学ミッションに合致した制度の検討 <ul style="list-style-type: none"> 現状に合った制度の設計 (調査シート作成) フォローアップまでの一貫した支援策 (支援スキーム案の作成)
5-7月	研究・産学連携委員会にて提案・修正・承認(共同提案)
8月	ヒアリング開始 科研費イベント(第2回URAカフェ「ザ・科研費」)の開催
9月	学内公募説明会開催
10月	科研費申請支援(～11月)
11月	学振へ提出、反省会・今後の検討事項確認

研究者向け 支援

- 科研費イベント(第2回URAカフェ「ザ・科研費」)開催
- 学内説明会の実施
- 科研費調書作成の手引書作成・配布
- 不採択調書の見直し(希望者全員に実施)
- その他個別相談(系・分科・細目、種目相談等)
- 採択者の調書公開(学内限定)
- 調書申請支援(形式+αチェック、ロジックチェック)

URAセン ターの準備

- 調査シート作成および支援希望者の把握・主担当決め
- ヒアリング時質問項目の作成
- 調書チェックシート作成
- 形式+αチェック、ロジックチェックの2段階制役割分担
- 複数体制によるチェックの実施

【今後の検討事項】

- トリアージの導入
- 作業分析(限られた人数で最大限の仕事をする)
- 調書勉強会の開催
- 科研費支援を行っている他大学の取り組み把握(ナレッジの共有)



● JST事業申請支援

- 研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) 事業
- 研究成果展開事業 (先端計測分析技術・機器開発プログラム)
- 戦略的国際科学技術協力推進事業 等

● 北九州産業学術推進機構 (FAIS) 助成金申請支援

- FAIS公募事業学内説明会の開催 (H25.4)

3キャンパス(戸畑、若松、飯塚)をテレビ会議
中継で結んで学内説明会を開催

● 民間の助成金等の申請支援



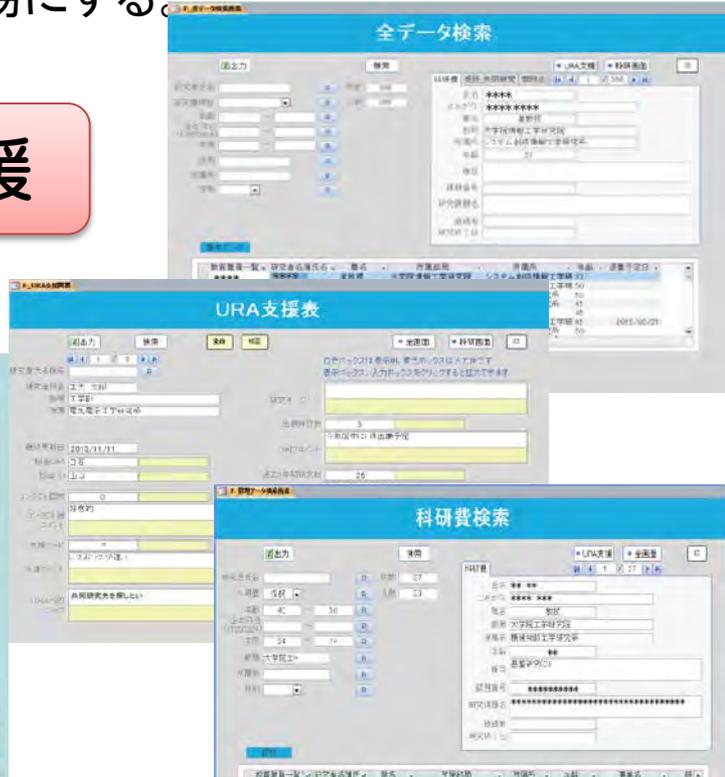
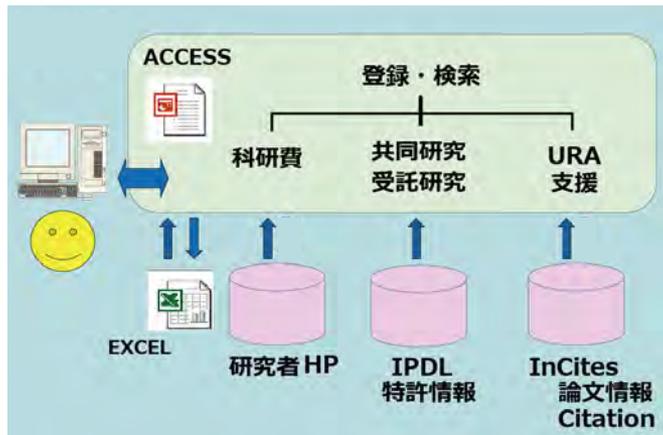
● URA情報システムの構築

- ・部署や担当者がそれぞれ持っていた、外部資金に関するデータを一つに集約し、情報収集を容易にする。
- ・これまでに面談を行った研究者についての情報を共有し、より濃やかな支援策の立案につなげる。
- ・論文や特許の情報収集を容易にする。

支援が必要な研究者

産学連携に参加していない研究者

重点支援



マイクロソフト社の Accessをベースに、開発を依頼。

あちこちに散らばっていたデータを集め、システムに取り込めるように加工。

実際のデータを取り込んだ際の動作確認を行い不具合を修正。

Version.1の完成。現在運用中。今後バージョンアップの予定。



● 大型産学官研究開発事業申請支援

1) 革新的イノベーション創出プログラム (COI STREAM)

残念ながら不採択であったが、今後に向けて、ワーキンググループ活動により、内容等の再検討を行っていく。

2) 研究成果展開事業

(スーパークラスタープログラム)

トライアルとして採択された。本格的な研究開発の実施に向けて、革新的な技術や市場に関する調査研究を実施していく。

URAの働き

大学の窓口として、関係機関と大学の研究者との
橋渡し・調整役として機能

● 医歯工連携分野への支援

バイオマイクロセンシング技術研究センター(重点研究センターの一つ)を中心とする地域連携型の研究開発プロジェクトの推進を支援

URAの働き

- ①競争的資金獲得のための申請書作成及びヒアリング対策の支援
- ②学内・学外の参画メンバーとの連絡・調整
- ③研究シーズ・成果のPR支援



● 学内ネットワーク

- ・外部事業申請や広報活動等、日々の業務における関係部署との連絡調整を通じた連携強化
- ・産学連携推進センター会議への参加
- ・産学連携推進センターのコーディネータと合同会議を毎月開催し、情報の共有、交換。



● 学外ネットワーク

▶ 「地域貢献・産学官連携強化」URA研究会

「地域貢献・産学官連携強化タイプ」で採択された4大学(東京農工大学、信州大学、福井大学、九州工業大学)が主催となってURAにおける共通の課題について話し合い、共に解決していくことを目標として発足。各大学内の関係事務部門や産学官連携コーディネータを含むネットワークを構築して、既存組織との役割分担など共通課題の解決を図ることを目的としている。

▶ 県・市、管理法人等との情報交換



- 九州大学URAシンポジウムで講演(九州大・H24.11)
「地域貢献・産学官連携強化を目指したURAの取組」
- 第1回 地域貢献・産学官連携強化URA研究会で講演(北九州市・H24.1)
「九州工業大学のURAが抱える課題と解決に向けて」
「産学官連携による医工連携の取組み」
- 第2回 地域貢献・産学官連携強化URA研究会
(福井大・H25.7)で講演
「九州工業大学の協働のかたち」
- URA人材育成セミナーで講演(福井大・H25.7)
「地域に根ざした産学官連携」
- 第3回URAシンポジウム・RA研究会で分科会を
担当(京都大・H25.11)
「目指せ、科研費強化！
ー科研費の獲得増に向けた機関の研究支援マネジメントー」



2013.12現在

シニアURA



倉田 奈津子

プロジェクト 開拓支援URA



山中 淳彦

TOP支援URA



田中 有理



小川 由紀子



白石 肇

センター長 和泉 亮

支援研究員 松本 里美

支援研究員 三浦 沙理

事務 安田 清美



どうぞよろしくお願ひします!